

# 令和6年度 第57回 大学院セミナー

令和6年11月27日

分野名 Area of Research (責任者名)(内線)	加齢口腔生理学分野 責任者名( 中村 渉 ) 内線( 7636 )
演題 Title	概日リズムと雌性生殖機構
講師等 Presenter	中村 孝博 先生 明治大学農学部・教授
概要 Abstract	<p>生物は地球の自転周期に合わせて生活するために長い年月をかけて、概日リズムという機能を発達させ、進化してきた。そのため、地球上に住むほとんどすべての生物は概日リズムを示す。げっ歯類では概日リズム機構の雌雄差が知られている。雌性動物では性周期に伴って、概日行動リズムの位相や振幅が変化する。性周期中、様々なホルモンの変動が認められるが、これらの行動変化に関わるのは卵巣ステロイドホルモンであるエストロゲンとプロゲステロンである。演者らは長く、卵巣ステロイドホルモンが概日リズムに及ぼす影響について検討を行ってきた。その結果、これらのホルモンが与える影響は全身に存在する時計の種類によって異なることを見出した。一方、概日リズム機構は雌性生殖に重要な排卵を制御している。げっ歯類では黄体形成ホルモンの排卵性一過性分泌(LH サージ)は決まって発情前期の日の夕方に起こる。演者らは、このLH サージの時間制御の神経回路についての検討を行っている。本セミナーでは、概日リズムと雌性生殖機構がどのように相互作用しているかを説明する。</p>
開催日時 Date and Time	令和6年12月5日(木)17:00~18:30
開催方法 Online/Face to face	歯学部加齢口腔生理学 セミナー室
備考 Notes	

- 先端医療科学特論(基礎編)
- 先端新興感染症病態制御学特論
- 日本語(Japanese)
- 対面(Face to face)

- 先端医療科学特論(臨床編)
- 先端放射線医療科学特論
- 英語(English)
- オンライン(Online)